

令和6年度

事業概要



広島県立呉高等技術専門校

〒737-0003 呉市阿賀中央五丁目11-17

TEL (0823) 71-8816

FAX (0823) 71-8848

目 次

1	概 要	1
2	事業の内容	1
3	沿 革	2
4	施設の状況	1 1
5	組 織	1 1
6	職員現員	1 2
7	訓練の概況	
	(1) 校内訓練	
	ア 訓練科目・定員及び訓練内容	1 3
	イ 資格取得の状況	1 4
	ウ 令和6年度応募者・入校者・在校者の状況	1 5
	エ 令和6年度学歴別・年齢別入校状況	1 6
	オ 令和6年度年間行事計画	1 7
	カ 訓練生の主な特典	1 8
	キ 授業料等について	1 8
	(2) 令和6年度在職者訓練計画	1 9
	(3) 令和5年度訓練の状況	
	ア 校内訓練の修了・就職の状況	2 0
	イ 在職者訓練の状況	2 0
◎	庁舎配置図	2 1

1 概 要

- (1) 名 称 広島県立呉高等技術専門校
(2) 所 在 地 呉市阿賀中央五丁目 11 番 17 号
(3) 設置の目的

本校は、「職業能力開発促進法」に定める県立の職業能力開発校で、「新規に学校を卒業した人」、「転職を希望する人」、「新たに職業に就こうとする人」等に対し、その人が希望する職種に必要な訓練を行って技能の向上を図り、優秀な技能者として地域社会発展のために活躍できる人材を養成することを目的としています。

- (4) 設立年月日 昭和 23 年 1 月 8 日

2 事業の内容

(1) 校内訓練

訓 練 科 目		入校資格
溶 接 加 工 科	(訓練期間 1 年)	50 歳以下
機 械 シ ス テ ム 科	(訓練期間 1 年)	45 歳以下
デ ジ タ ル 技 術 科	(訓練期間 1 年)	18 歳以上 35 歳以下

(施設内訓練民間活力導入事業)

介 護 サ ー ビ ス 科 C A D ワ ー ク 科	(訓練期間 6 か月)	年齢制限なし
--------------------------------	-------------	--------

(2) 在職者訓練 (令和 6 年度計画)

訓 練 科 目	
介護福祉士受験対策講座	1 回

3 沿 革

年 月 日	特 記 事 項	訓練科目
昭和 23. 1. 8	呉市両城町、元呉精華高等女学校校舎の一部を借り受け、職業安定法による『広島県呉公共職業補導所』として設立し、英文タイプの補導を開始	英文タイプ科
24. 5. 1	和文タイプ科を増設	英文タイプ科 和文タイプ科
25. 12. 10	元広島医大二河分院跡に移転	
26. 5. 1	通訳科、機械科を新設	英文タイプ科 和文タイプ科 通 訳 科 機 械 科
27. 3. 31	和文タイプ科を廃止	
27. 4. 1	経理事務科、編物手芸科を新設	英文タイプ科 通 訳 科 機 械 科 経 理 事 務 科 編 物 手 芸 科
27. 9. 30	通訳科を廃止	英文タイプ科 機 械 科 経 理 事 務 科 編 物 手 芸 科
28. 5. 1	編物手芸科を廃止 理容科、美容科を新設	英文タイプ科 機 械 科 経 理 事 務 科 理 容 科 美 容 科
29. 2. 12	理容師養成施設及び美容師養成施設の指定を受ける	
29. 10. 1	英文タイプ科を廃止 溶接科を新設	機 械 科 経 理 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科
30. 11. 1	夜間訓練として経理事務科、溶接科を増設	機 械 科 経 理 事 務 科 " (夜) 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜)

31. 11. 1	内職訓練として服装手芸科（2週間）を新設	機 械 科 経 理 事 務 科 " (夜) 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) 服装手芸科(2週間)
31. 12. 1	国連軍返還施設建物を訓練施設として譲与を受け、 広分室を改造して理容科、美容科を移転	
32. 1. 21	編物科を新設	機 械 科 経 理 事 務 科 " (夜) 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) 服装手芸科(2週間) 編 物 科
33. 7. 1	職業訓練法の施行に伴い『広島県呉職業訓練所』と 改称	
36. 3. 31	服装手芸科を廃止	機 械 科 経 理 事 務 科 " (夜) 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) 編 物 科
37. 4. 1	溶接科（6か月）を増設	機 械 科 経 理 事 務 科 " (夜) 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) " (6か月) 編 物 科
38. 3. 31	経理事務科の夜間訓練を廃止	
38. 4. 1	新庁舎落成（呉市広町連蔵新開に移転） 機械製図科、板金科を新設	機 械 科 経 理 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) " (6か月) 編 物 科 機 械 製 図 科 板 金 科

39. 7. 1	配管科を新設 自動車運転員科委託訓練を開始	機 械 科 経 理 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) " (6 か月) 編 物 科 機 械 製 図 科 板 金 科 配 管 科
44. 4. 1	機械科と溶接科に呉工業高等学校定時制との「技能連携制度」を設置	
44. 5. 1	理容科、美容科、編物科が新築落成移転	
44. 10. 1	職業訓練法の改正により『広島県立呉専修職業訓練校』と改称	
45. 1. 1	板金科の訓練期間を6か月に変更	機械科 経理事務科 理容科 美容科 溶接科 " (夜) " (6 か月) 編物科 機械製図科 板金科 (6 か月) 配管科
45. 7. 1	配管科の訓練期間を6か月に変更	機 械 科 経 理 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) " (6 か月) 編 物 科 機 械 製 図 科 板 金 科 (6 か月) 配 管 科 (6 か月)
47. 3. 31	編物科を廃止	機 械 科 経 理 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) " (6 か月) 機 械 製 図 科 板 金 科 (6 か月) 配 管 科 (6 か月)
48. 4. 1	『広島県立呉高等職業訓練校』と改称 機械製図科を普通訓練課程2類に変更	

48. 7. 1	校所在地の町名変更 (呉市阿賀中央五丁目 11 番 17 号)	
51. 4. 1	経理事務科を普通訓練課程 2 類に変更	
54. 3. 31	溶接科 (6 か月) を廃止	
54. 4. 1	構造物鉄工科 (6 か月) を新設	機 械 科 経 理 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) 機 械 製 図 科 板 金 科 (6 か月) 配 管 科 (6 か月) 構 造 物 鉄 工 科 (6 か月)
56. 4. 1	構造物鉄工科を養成訓練に変更 (訓練期間 1 年) 理容科、美容科を普通訓練課程 1 類に変更	機 械 科 経 理 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) 機 械 製 図 科 板 金 科 (6 か月) 配 管 科 (6 か月) 構 造 物 鉄 工 科
56. 8. 28	液化石油ガス設備士養成の指定を受ける	
60. 4. 22	パソコン講座を開設	
61. 4. 1	『広島県立呉高等技術専門校』と改称 経理事務科を O A 事務科と改称	機 械 科 O A 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) 機 械 製 図 科 板 金 科 (6 か月) 配 管 科 (6 か月) 構 造 物 鉄 工 科
62. 7. 1	板金科、配管科を金属加工科 (板金コース、配管コース) に変更	機 械 科 O A 事 務 科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) 機 械 製 図 科 金 属 加 工 科 (板金コース、配管コース 6 か月) 構 造 物 鉄 工 科

平成 2. 3. 31	構造物鉄工科を廃止	機 械 科 O A 事務科 理 容 科 美 容 科 溶 接 科 " (夜) 機 械 製 図 科 金 属 加 工 科 (板金コース、配 管コース6か月)
3. 3. 31	溶接科を廃止	機 械 科 O A 事務科 理 容 科 美 容 科 機 械 製 図 科 金 属 加 工 科 (板金コース、配 管コース6か月)
3. 7. 1	金属加工科 (板金コース、配管コース) を廃止 金属加工科 (6か月)、建築設備科 (6か月) を新設 (3.10.1 訓練開始)	機 械 科 O A 事務科 理 容 科 美 容 科 機 械 製 図 科 金 属 加 工 科 (6か月) 建 築 設 備 科 (6か月)
4. 3. 31	建築設備科を廃止	
4. 4. 1	竹原高等技術専門校を統合 ビルメンテナンス科 (6か月) を新設	機 械 科 O A 事務科 理 容 科 美 容 科 機 械 製 図 科 金 属 加 工 科 (6か月) ビ ル メ ン テ ナ ン ス 科 (6か月)
8. 4. 1	金属加工科を溶接加工科と改称 ビルメンテナンス科を設備メンテナンス科と改称	機 械 科 O A 事務科 理 容 科 美 容 科 機 械 製 図 科 溶 接 加 工 科 (6か月) 設 備 メ ン テ ナ ン ス 科 (6か月)
10. 3. 1	呉高等技術専門校施設整備基本設計作成	

10. 4. 1	機械製図科をCAD技術科と改称 理容科、美容科を理容師法、美容師法により2年制に移行	機 械 科 O A 事 務 科 理容科 (2年) 美容科 (2年) C A D 技術科 溶接加工科 (6か月) 設備メンテナンス科 (6か月)
10.10. 7	緊急中高年再就職促進訓練として溶接科 (3か月)を実施	
11. 7. 3	呉高等技術専門校改築工事着手	
12. 7. 30	呉高等技術専門校改築工事一部完成 (実習棟 I、II)	
13. 3. 31	CAD技術科を廃止	
13. 4. 1	CADエンジニアリング科 (2年) を新設	O A 事 務 科 理容科 (2年) 美容科 (2年) CADエンジニアリング科 (2年) 機 械 科 溶接加工科 (6か月) 設備メンテナンス科 (6か月)
14. 3. 22	呉高等技術専門校改築工事完成	
14. 3. 31	O A 事務科を廃止	
14. 4. 1	O A システム科を新設	理容科 (2年) 美容科 (2年) CADエンジニアリング科 (2年) O A システム科 機 械 科 溶接加工科 (6か月) 設備メンテナンス科 (6か月)
14. 5. 10	呉高等技術専門校落成式	
18. 4. 1	デュアルシステム1年課程として、溶接加工科5名実施	
20. 3. 31	理容科、美容科、CAD エンジニアリング科を廃止	
20. 4. 1	機械科を機械システム科に、溶接加工科 (6か月)を溶接加工科 (1年) に、O A システム科を情報システム科に変更。 住宅リフォーム科 (1年)、O A ビジネス科 (6か月)、介護サービス科 (6か月) を新設。	溶 接 加 工 科 機 械 シ ス テ ム 科 住 宅 リ フ ォ ー ム 科 情 報 シ ス テ ム 科 設 備 メ ン テ ナ ン ス 科 (6 か 月) O A ビ ジ ネ ス 科 (6 か 月) 介 護 サ ー ビ ス 科 (6 か 月)

22. 4. 1	設備メンテナンス科をビルメンテナンス科に名称変更	溶接加工科 機械システム科 住宅リフォーム科 情報システム科 ビルメンテナンス科 (6か月) OA ビジネス科 (6か月) 介護サービス科 (6か月)
24. 3. 31	住宅リフォーム科、OA ビジネス科を廃止	
24. 4. 1	医療介護事務科 (6か月) を新設	溶接加工科 機械システム科 情報システム科 ビルメンテナンス科 (6か月) 医療介護事務科 (6か月) 介護サービス科 (6か月)
27. 3. 31	情報システム科を廃止	溶接加工科 機械システム科 ビルメンテナンス科 (6か月) 医療介護事務科 (6か月) 介護サービス科 (6か月)
29. 3. 31	ビルメンテナンス科 (6か月)、医療介護事務科 (6か月) を廃止	溶接加工科 機械システム科 介護サービス科 (6か月)
29. 4. 1	CADワーク科 (6か月) を新設	溶接加工科 機械システム科 介護サービス科 (6か月) CADワーク科 (6か月)
令和 6. 4. 1	デジタル技術科 (1年) を新設	溶接加工科 機械システム科 デジタル技術科 介護サービス科 (6か月) CADワーク科 (6か月)

＜元竹原高等技術専門校の沿革＞

年 月	特 記 事 項	訓 練 科 目
昭和 18. 6	広島県木船工補導所として設置し、旧竹原国民職業指導所（現広島相互銀行及び旧三井金属寄宿舍内）に仮庁舎として開所（木船工科訓練期間2か月）	木 船 工 科 （ 2 か 月 ）
18. 10	竹原市大石 1003 番地に移転	
22. 12	職業安定法施行に伴い広島県竹原補導所と改称	
24. 12	竹原町から実習場（132 m ² ）を借り受け、同町北崎地先に実習場を移転	
28. 5	木船工科を造船科と改称（訓練期間1年：木船、鋼船）	造 船 科
29. 9	竹原町北崎地先の実習場立ち退きにより、竹原町明神 1678 番地に実習場を移転（105.6 m ² ）	
31. 5	竹原町から実習場を寄付	
32. 4	造船科（専修）から溶接を独立 造船科（専修）に現図を増設し、木工を廃止	造 船 科 溶 接 科
32. 8	竹原町明神 1678 番地の実習場内に庁舎移転	
33. 3	新庁舎新築落成（造船科・溶接科の教室、事務室）	
33. 7	職業訓練法施行に伴い広島県竹原職業訓練所と改称	
34. 10	鋼造船建造について運輸大臣認可（年間建造 100 トン）	
35. 10	造船科実習場新築（機械・現図）	
36. 4	造船科（専修）に製図工を増設（現図工、鉄工、機械工、製図工）	
39. 1	竹原市竹原町明神 1678-28 の土地を購入（1, 652.89 m ² ）	
39. 4	中高年齢雇用者就業促進訓練のため構造物鉄工科を新設 構造物鉄工科実習場、ガス発生室を新築 本館を移転増築し現図実習場を移転	造 船 科 溶 接 科 構 造 物 鉄 工 科
41. 3	湊神社北側の土地を借用 寄宿舍を新築（収容人員 28 名、ブロック造一部2階建、延面積 214.5 m ² 、工費 525 万円）	
42. 4	変電室を新築（19.44 m ² ） 借用地の一部（72.90 m ² ）を返還	
43. 3	造船科実習場（鉄工、溶接工）、教室等を新築 （実習場・教室：鉄骨一部2階建、延面積 990.03 m ² ） （危険物倉庫：ブロック造 40 m ² ）	
44. 4	構造物鉄工科を廃止し、溶接科（能開訓練、訓練期間6か月）を新設	造 船 科 溶 接 科 溶 接 科 （ 6 か 月 ）
44. 10	職業訓練法施行に伴い、広島県立竹原専修職業訓練校と改称	
46. 4	溶接科（1年）を廃止し、造船科に溶接コースを設置（1年）	造 船 科 " 溶接コース 溶 接 科 （ 6 か 月 ）

47.	4	造船製図科を新設（1年、高卒者）	造船科 " 溶接コース 溶接科（6か月） 造船製図科
47.	12	本館を改築	
48.	4	造船製図科が高等課程に昇格したため、広島県立竹原高等訓練校と改称	
49.	3	本館3階に女子寮を増築（297.98 m ² 、8室、洗面所、便所）	
50.	3	車庫新築（鉄骨スレート瓦葺 69.16 m ² ）	
53.	10	溶接科（能開訓練6か月）を休止し、構造物鉄工科（緊急特別訓練6か月）に変更	造船科 " 溶接コース 構造物鉄工科 （6か月） 造船製図科
54.	4	造船科を構造物鉄工科に変更 造船製図科を構造物製図科に変更 構造鉄工科（能開訓練6か月）を溶接科に変更	構造物鉄工科 構造物製図科 溶接科
61.	4	職業能力開発促進法施行に伴い広島県立竹原高等技術専門校と改称	
63.	4	構造物製図科を機械製図科に変更	構造物鉄工科 機械製図科 溶接科
平成 元年	4	溶接科を金属加工科に変更	構造物鉄工科 機械製図科 金属加工科
2.	3	機械製図科を廃止	構造物鉄工科 金属加工科
4.	3	呉高等技術専門校への統合により廃止	

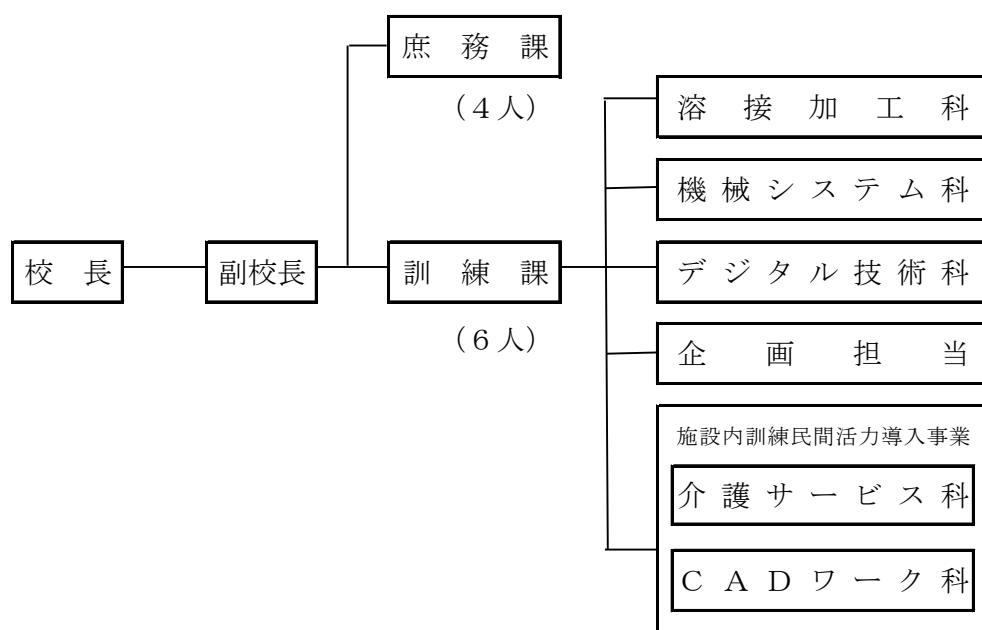
4 施設の状況

(1) 土地 8,987.62 m²

(2) 建物 (m²)

用途	建築面積	延面積	備考
管理棟	1,030.20	3,652.91	・校長室、事務室 ・デジタル技術科 ・CADワーク科
実習棟 I	929.25	2,591.53	・機械システム科 ・介護サービス科
実習棟 II	645.82	708.34	・溶接加工科
その他	193.75	221.05	・車庫 ・自転車置場他
計	2,799.02	7,173.83	

5 組織



※会計年度任用職員除く

6 職員現員

令和6年4月1日現在（人）

区分		校長	副校長	課長	参事	主幹	主査	訓練専門員	主任	主任技師	技師	計	備考
現員		1	1	1	1		3	4	1			12	
内訳	庶務課			1			3					4	
	訓練課			(1)	1			4	1			6	副校長が課長を兼務

○その他の職員（会計年度任用職員）

職業訓練月額講師（2人）

職業訓練時間講師（5人）

職業能力開発事務従事員（4人）

7 訓練の概況

(1) 校内訓練

ア 訓練科目・定員及び訓練内容

訓練科目 (入校月)	訓練期間	課程	定員	訓練時間	訓練内容
溶接加工科 (4月)	1年	普通・短期	10人	1,404時間	金属の加工に必要な溶接、板金、製缶、図面の見方等に関する学科及び実技
機械システム科 (4月)	1年	普通・短期	20人	1,404時間	NC工作機械、汎用工作機械による切削加工に関する学科及び実技
デジタル技術科 (4月)	1年	普通	20人	1,404時間	プログラミングやシステム開発に関する学科及び実技
介護サービス科 (4月、10月)	6か月	短期	20人 × 2回	704時間	介護知識・技能、医療知識一般、社会福祉等の学科及び実技 特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター等の施設での現場実習
CADワーク科 (4月、10月)	6か月	短期	20人 × 2回	704時間	機械設計製図に関する学科 機械製図・機械設計・CAD(2次元、3次元)等の実技

イ 資格取得の状況（令和5年度）

（単位；人、％）

訓練科名	検 定 免 許 別		受験 者数	合格 者数	合格率	備考
	名 称	等級				
溶接加工科	クレーン運転特別教育修了証		5	5	100.0	
	アーク溶接特別教育修了証		6	6	100.0	
	ガス溶接技能講習修了証		6	6	100.0	
	J I S 溶接技能者評価試験		5	5	100.0	
	玉掛け技能講習修了証		5	5	100.0	
機械システム科	技能検定（機械加工・普通旋盤作業）	3級	4	2	50.0	
介護サービス科	介護職員実務者研修		32	27	84.4	
	日本語ワープロ検定	2級	2	1	50.0	
	〃	準2級	4	4	100.0	
	〃	3級	2	0	0.0	
	表計算検定	2級	1	0	0.0	
	〃	準2級	4	4	100.0	
	〃	3級	2	2	100.0	
CADワーク科	3次元CAD利用技術者試験	準1級	13	11	84.6	
	3次元CAD利用技術者試験	2級	20	18	90.0	
	技能検定（機械・プラント製図）	3級	15	4	26.7	

ウ 令和6年度応募者・入校者・在校生の状況 令和6年4月5日現在 (単位;人)

訓練科目	訓練期間	課程別	定員	応募者数			入校者数			在校生数			
				計	男	女	計	男	女	計	男	女	
溶接加工科	1年	短期・普通	10	8	8	0	7	7	0	7	7	0	
機械システム科	1年	短期・普通	20	7	7	0	6	6	0	6	6	0	
デジタル技術科	1年	普通	20	26	20	6	19	13	6	19	13	6	
計			50	41	35	6	32	26	6	32	26	6	
介護サービス科	6か月	短期	前期	20	17	9	8	16	9	7	16	9	7
		後期	20										
CADワーク科	6か月	短期	前期	20	16	10	6	17	11	6	17	11	6
		後期	20										
計			80	33	19	14	33	20	13	33	20	13	
合計			130	74	54	20	65	46	19	65	46	19	

(注) CADワーク科の応募者数等には自衛隊受託訓練生5人を含む。

エ 令和6年度学歴別応募状況

令和6年4月5日現在 (単位:人)

訓練科目	募集対象	定員	応募者	合格者	入校者	学歴別			年齢別					
						中学卒	高校卒	短大・大学卒	18歳未満	18歳～20歳	21歳～30歳	31歳～44歳	45歳～54歳	55歳～
溶接加工科	50歳以下の求職者	10	8	7	7	0	7	0	0	5	0	2	0	0
機械システム科	45歳以下の求職者	20	7	6	6	0	4	2	0	4	0	2	0	0
デジタル技術科	18歳以上、35歳以下の求職者	20	26	19	19	0	8	11	0	1	15	3	0	0
小計		50	41	32	32	0	19	13	0	10	15	7	0	0
介護サービス科(前期)	すべての求職者	20	17	17	16	0	6	10	0	0	0	2	4	10
CADワーク科(前期)		20	16	17	17	2	10	5	0	4	9	3	1	0
介護サービス科(後期)		20												
CADワーク科(後期)		20												
小計		80	33	34	33	2	16	15	0	4	9	5	5	10
合計		130	74	66	65	2	35	28	0	14	24	12	5	10

注1) 合格者数には、他科を受験し第2希望の訓練科に合格した者が含まれるため、応募者数を超える場合があります。

注2) CADワーク科の応募者数等には自衛隊受託訓練生5人を含みます。

注3) 介護サービス科、CADワーク科については、後期入校が10月のため前期のみの数値を計上しています。

オ 令和6年度 年間行事計画

月	日	行 事
4月	5日(金)	令和6年度普通課程・短期課程(前期生)入校
	12日(金)	消防避難訓練
	23日(火)	健康診断
6月	18日(火)	献血
7月	10日(水)	短期課程(後期生)募集開始
8月	4日(日)	オープンスクール
	5日(月) ～16日(金)	訓練生夏休み
	下旬	ジョブガイダンス(予定)
9月	4日(水)	短期課程(後期生)募集締切
	12日(木)	短期課程(後期生)入校選考
	20日(金)	令和7年度生第1期募集開始(普通課程、短期課程前期)
	20日(金)	短期課程(後期生)合格発表
	26日(木)	短期課程(前期生)修了
10月	3日(木)	短期課程(後期生)入校
	18日(金)	消防・避難訓練
	22日(火)	健康診断
	31日(木)	令和7年度生第1期募集締切(普通課程、短期課程前期)
11月	15日(金)	令和7年度生第1期入校選考(普通課程、短期課程前期)
	23日(土)	技能祭
	28日(木)	令和7年度生第1期合格発表(普通課程、短期課程前期)
12月	25日(水) ～1月5日(日)	訓練生冬休み
1月	6日(月)	令和7年度生第2期募集開始(普通課程、短期課程前期)
	21日(火)	献血
2月	2日(日)	オープンスクール
	10日(月)	令和7年度生第2期募集締切(普通課程、短期課程前期)
	27日(木)	令和7年度生第2期入校選考(普通課程、短期課程前期)
3月	6日(木)	令和7年度生第2期合格発表(普通課程、短期課程前期)
	18日(火)	令和6年度生普通課程・短期課程(後期生)修了

※6月～3月の各月1回、水曜日に「知っ得ツアー」を実施

カ 訓練生の主な特典

- (ア) 訓練に必要な機材は貸与します。
- (イ) 1年の訓練を受ける人は、交通機関の運賃について学割等の割引運賃が適用されます。
- (ウ) 技能者育成資金の貸付制度があります。
- (エ) 雇用保険受給者で、ハローワーク（公共職業安定所）の指示によって入校した人には訓練修了日まで受給期間が延長されるほか、諸手当が支給されます。
- (オ) 訓練修了の際には、ハローワーク（公共職業安定所）と協力して就職活動を援助します。

ク 授業料等について

18歳以上の者が普通課程に入校する場合は、選考料（2,200円）、入校料（5,650円）を、普通課程に在校する者は授業料（6月分59,400円×2回）を納付しなければなりません。（納付が困難な者等については減免制度があります。）

また、教科書、作業服、その他の経費として修了までに40,000円～45,000円程度の実習教材費が必要です。（科・訓練期間によって異なります。）

(2) 令和6年度在職者訓練計画

No	訓練科	講座名	定員	日程(計画)	日数 (日)	時間数 (時間)	昼夜 の別	受講料(円) 予定※	備考
1	介護サービス科	介護福祉士受験対策講座	20人	6年12月～ 7年1月	4	24	昼	8,900	
合計1コース			20人		4				

※受講料は予定であり、教材費（テキスト・実習材料等）の見直しにより変更することもあります。

(3) 令和5年度訓練の状況

ア 校内訓練の修了、就職の状況

(単位;人、%) 集計日 令和6年4月5日

訓練科名	一回定員 (a)	入校者数 (b)	中退者数						修了者数 (d)									入校率 (b/a)	修了率 (d/b)	修了者 就業率 (e+f/d)
			中退者数のうち、次の内数					修了者の就業者数(e)						進学 (f)	未就職	未把握				
			就業 (c)	うち 関連	進路 変更	病気	その他	雇用 うち 関連	自営 うち 関連											
溶接加工科	20	6	1	0	0	1	0	0	5	5	5	5	0	0	0	0	0	30.0	83.3	100.0
機械システム科	20	4	3	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	20.0	25.0	100.0
介護サービス科 (前期)	20	17	2	0	0	0	1	1	15	10	10	10	0	0	0	4	1	85.0	88.2	66.7
介護サービス科 (後期)	20	15	2	0	0	1	1	0	13	3	3	3	0	0	0	10	0	75.0	86.7	23.1
CADワーク科 (前期)	20	19	3	0	0	0	0	3	16	9	9	7	0	0	0	4	3	95.0	84.2	56.3
CADワーク科 (後期)	20	12	2	2	0	0	0	0	10	4	4	4	0	0	0	6	0	60.0	83.3	40.0
合計	120	73	13	3	1	3	3	4	60	32	32	29	0	0	0	24	4	60.8	82.2	53.3

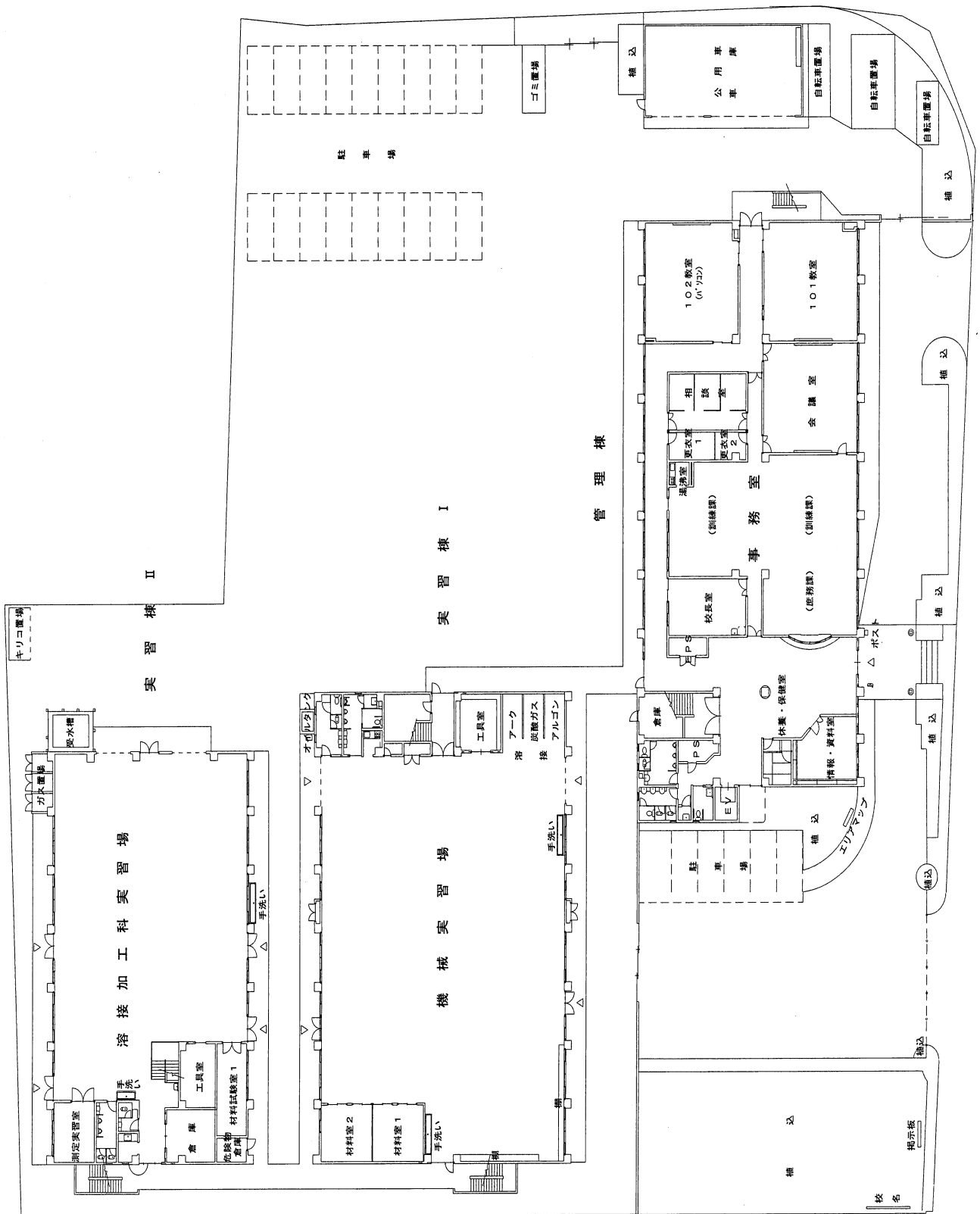
※就業率には、進学(呉工業定時制連携)を含む。

イ 在職者訓練の状況

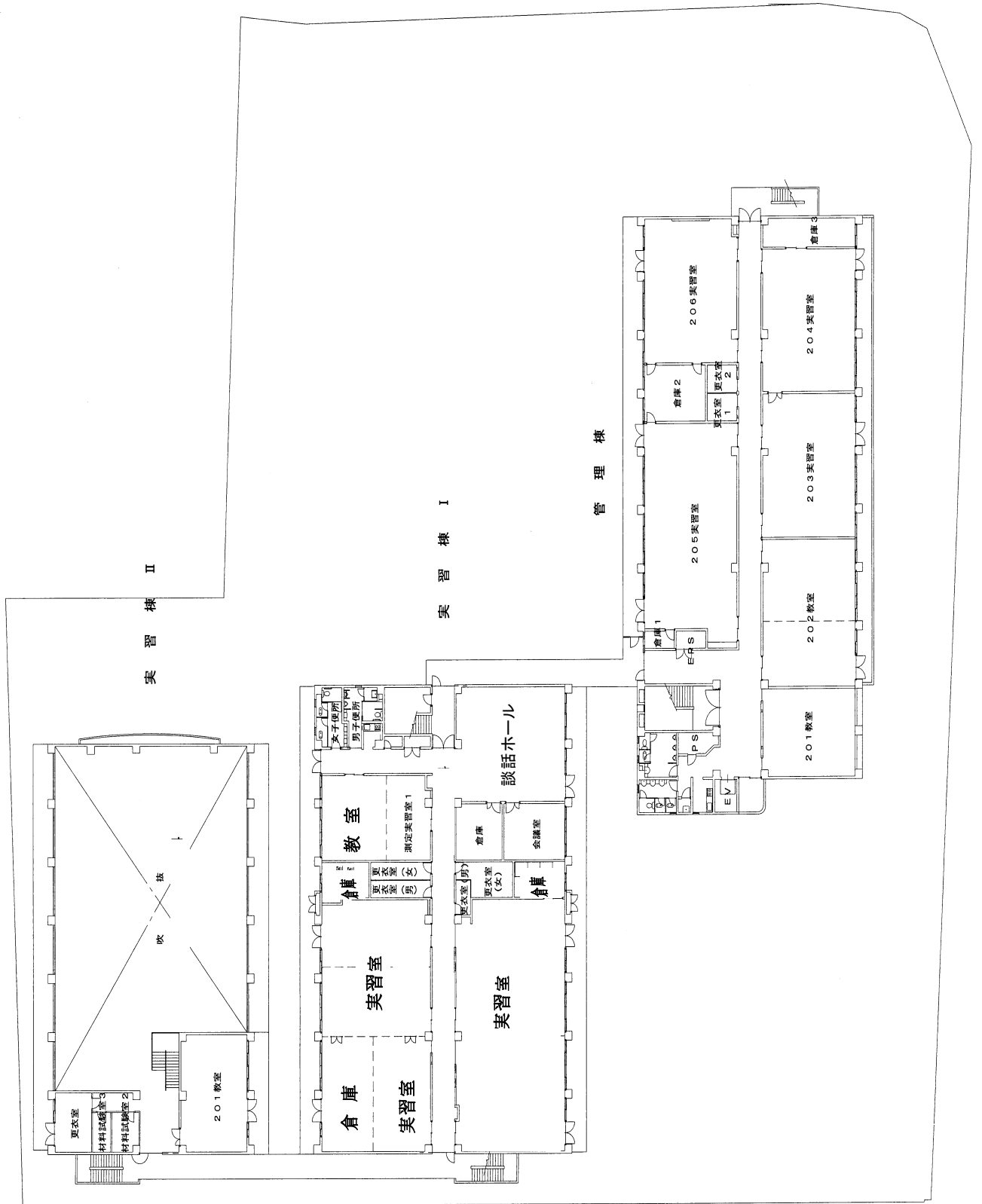
講座名	実施期間 (実施日)	訓練日数	訓練時間		昼夜 の別	指導員又は講師		訓練定員 人	応募者数 人
			1日当たり H	延べ H		員数 人	うち外部講師 人		
介護福祉士受験対策講座	令和5年12月5、12、19日 令和6年1月9日	4日	6	24	昼	1	1	20	9

庁舎配置図

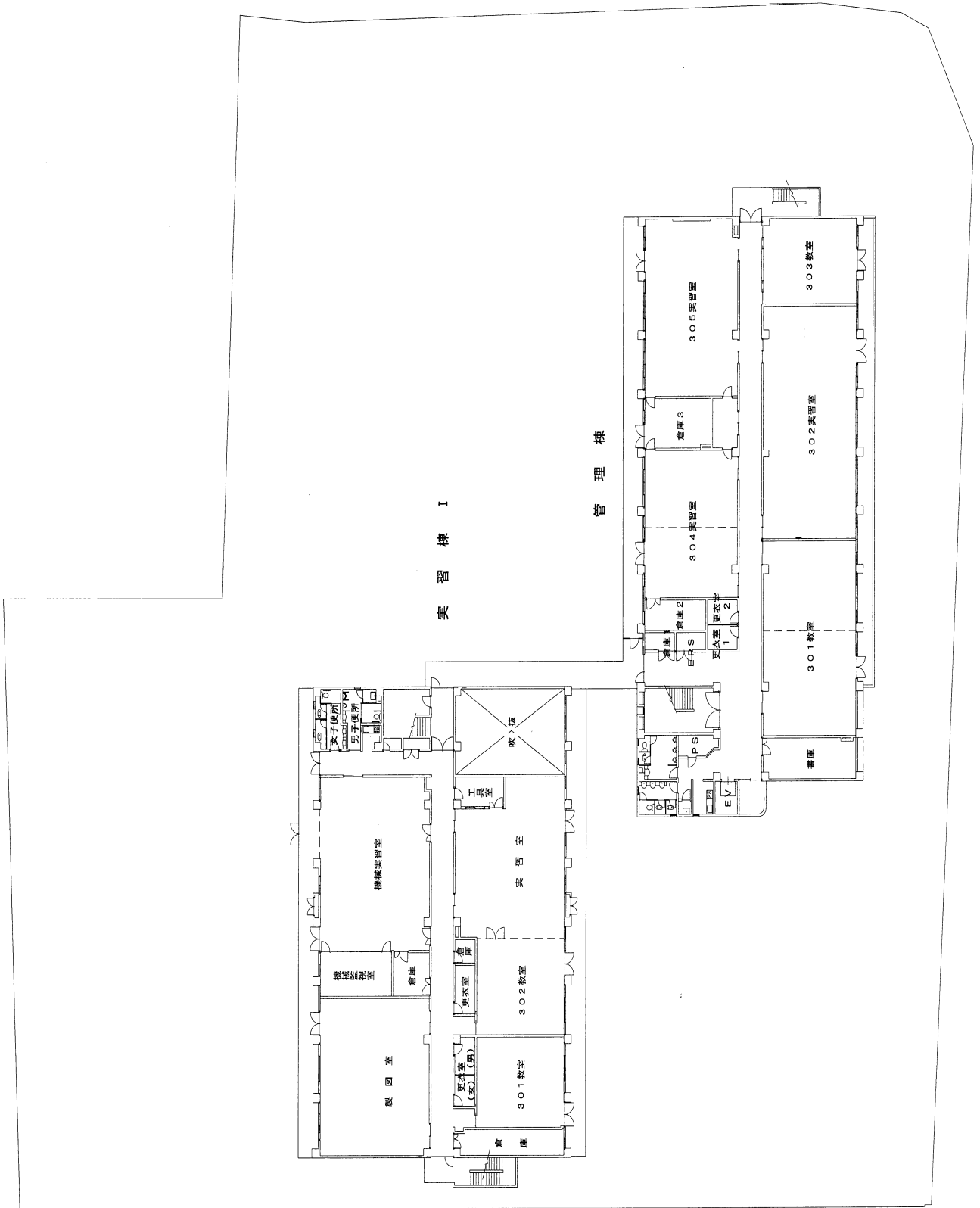
(1階)



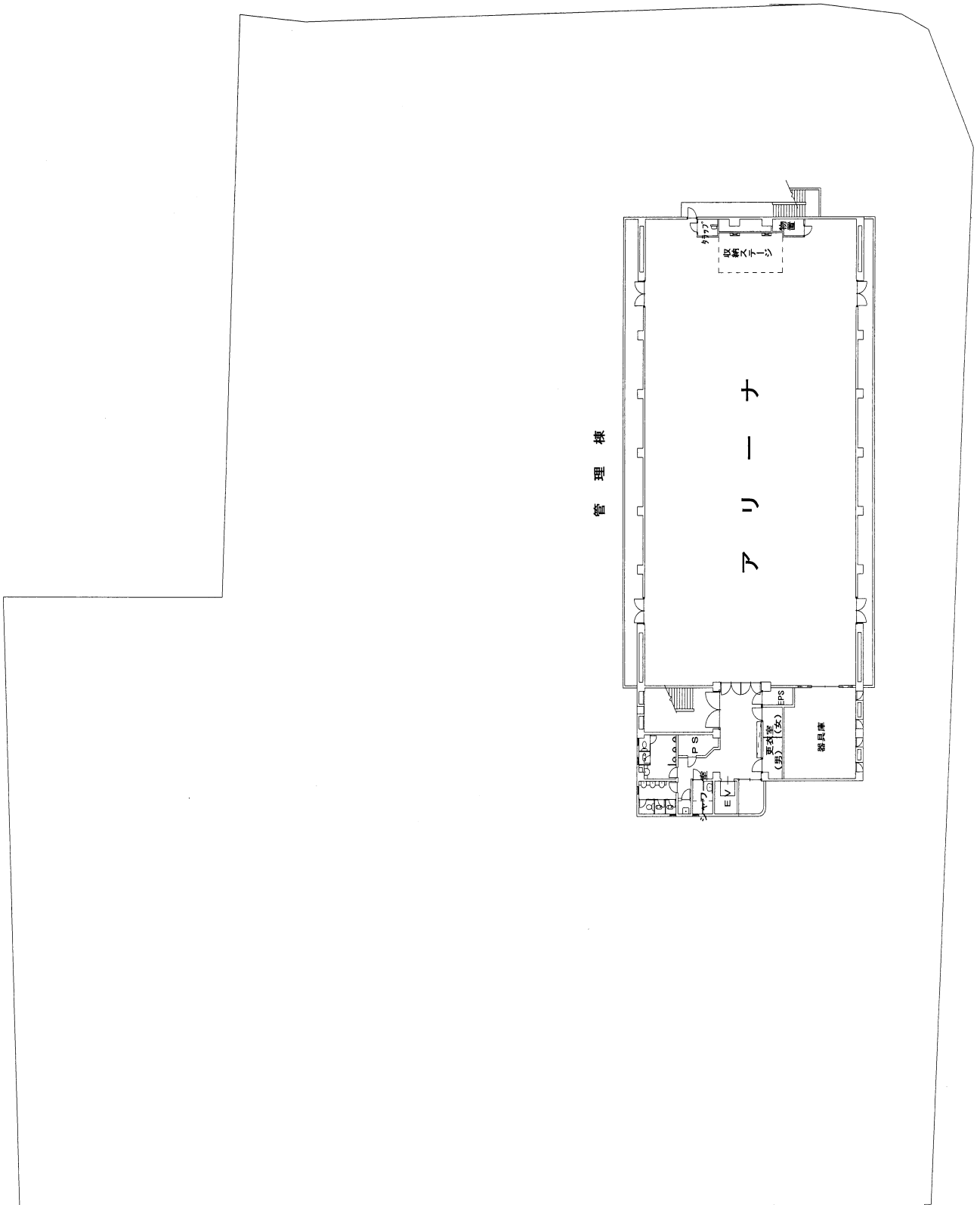
(2階)



(3階)

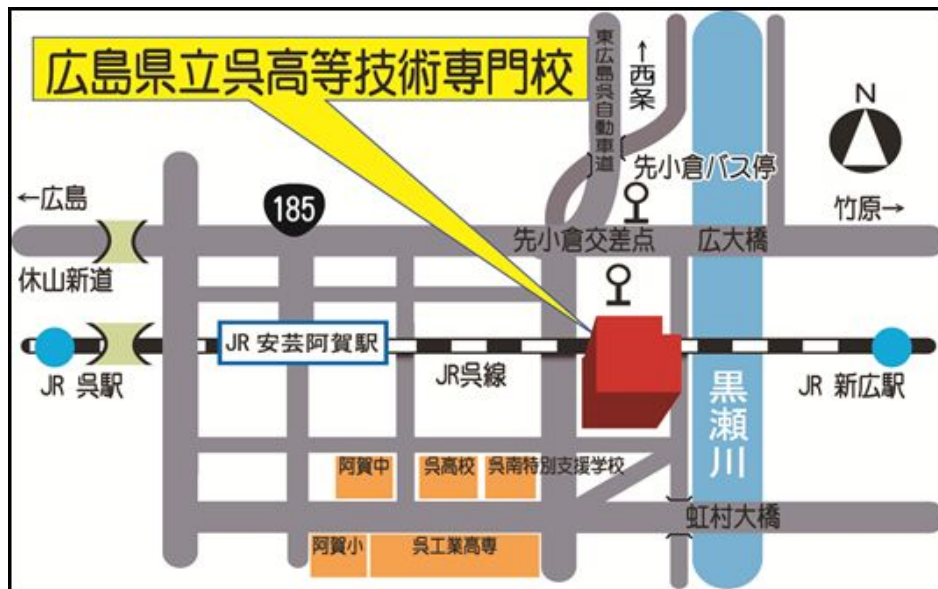


(4階)





交通アクセス



JR呉線

- ・JR 安芸阿賀駅から広方面に徒歩約 10 分(約 1000m)
- ・JR 新広駅から呉市街方面に徒歩約 15 分(約 1500m)

バス

- ・先小倉バス停から徒歩約 3 分(約 300m)

自家用車等

広島方面から

- ・広島呉有料道路(クリアライン)を下りて国道 185 号線に入り、休山新道(トンネル)を抜け、約 1300m先小倉交差点を右折、(手前に看板が出ています)JR線路ガードをくぐって、すぐ左折して下さい。

東広島方面から

- ・国道 375 号線から南方面(呉方面)へ、国道終点(広交差点)で右折し(呉方面)、国道 185 号線に入り呉市方面に約 1700m行き、広大橋を渡ってすぐの先小倉交差点を左折、JR線路ガードをくぐって、すぐ左折して下さい。

竹原方面から

- ・国道 185 号線を呉方面に走り、広大橋を渡ってすぐの先小倉交差点を左折、JR線路ガードをくぐって、すぐ左折して下さい。